

# 第1分科会

## 行動上の問題をきっかけに 子どもの見方を変える

### 企画趣旨

特別支援教育に携わる教員は、児童生徒一人一人の資質・能力を育成するために、子どもたちを理解し、保護者や教員同士が連携し、個別の指導計画を作成し、日々の授業実践を行う。しかしながら、実際の学校生活では、必ずしも子どもたちが教員や保護者の願い通りに活動できるわけではなく、ときには子どもたちの問題行動への対応に追われることもある。子どもたちが示す行動に対して、我々はどう理解し、どのような解決策をもっているだろうか。

本分科会では、二つの事例を通して、子どもたちの行動上の問題に焦点を当てて、教師や支援者が子どもの見方や捉え方を変えていく過程を明らかにする。そして、障害児者の活動や参加について、本人を丸ごと理解し、柔軟な発想で指導や支援することについて議論していく。

### 内容

#### タイムテーブル

タイムテーブル	
10:20 ~ 10:25	企画趣旨説明
10:25 ~ 10:55	話題提供① 学校時代から進路先での様子 意見交換
10:55 ~ 11:25	話題提供② 本校中学部生徒 A の学校での様子 意見交換
11:25 ~ 11:50	指定討論者から

企画・司会者	川野 実由紀(本校特別支援部)	
話題提供者	①	静岡県立富士特別支援学校 教諭 岩附 敦史 社会福祉法人静岡手をつなぐ育成の会ラポールたけみ サービス管理責任者 森 寿子
	②	静岡大学教育学部附属特別支援学校 教諭 鈴木 浩祐・若月 未来
指定討論		静岡大学教育学部 教諭 大塚 玲
		静岡大学教育学部 講師 村上 広美